

[参考] 先月からの主要変更点

	7月月例	8月月例
基調判断	<p>景気は、おおむね横ばいとなっているが、<u>このところ一部に弱い動きがみられる。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・輸出は横ばいとなっている中で、生産は弱含んでいる。 ・企業収益は緩やかな改善が続いており、設備投資は緩やかな持ち直しが続いている。 ・個人消費は、おおむね横ばいで推移している。<u>雇用情勢は、依然として厳しい。</u> ・<u>株価は大幅に回復している。</u> <p>先行きについては、アメリカ経済等の回復が持続すれば、景気は持ち直しに向かうことが期待される。一方、<u>海外経済の先行きを巡る不透明感や、今後の株価・長期金利の動向に留意する必要がある。</u></p>	<p>景気は、おおむね横ばいとなっている。<u>株価やアメリカ経済の動向など、我が国の景気を巡る環境に変化の兆しがみられる。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・輸出は<u>このところ弱含みとなっている一方、</u>生産は横ばいとなっている。 ・企業収益は緩やかな改善が続いており、設備投資は緩やかな持ち直しが続いている。 ・個人消費は、おおむね横ばいで推移している。 ・雇用情勢は、依然として厳しいものの、<u>一部に持ち直しの動きがみられる。</u> <p>先行きについては、アメリカ経済等の回復が持続すれば、景気は持ち直しに向かうことが期待される。一方、今後の株価・長期金利や海外経済の動向には留意する必要がある。</p>
政策態度	<p>政府は、<u>持続的な経済成長を実現するため、6月27日、経済活性化、国民の安心の確保、将来世代に責任が持てる財政の確立を目指し、「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2003」を閣議決定した。今後、その早期具体化により、構造改革の更なる強化を図る。</u></p> <p>政府は、日本銀行と一体となって、金融・資本市場の安定及びデフレ克服を目指し、引き続き強力かつ総合的な取組を行う。</p>	<p>政府は、「<u>経済財政運営と構造改革に関する基本方針2003</u>」の早期具体化により、<u>構造改革の一層の強化を図る。平成16年度予算編成については、歳出、歳入両面及び質、量両面にわたる改革をさらに加速する。</u></p> <p>政府は、日本銀行と一体となって、金融・資本市場の安定及びデフレ克服を目指し、引き続き強力かつ総合的な取組を行う。</p>

各論

	7月月例	8月月例
住宅投資	<u>おおむね横ばいとなっている。</u>	<u>このところ増加している。</u>
輸出入・国際収支	輸出は、 <u>横ばいとなっている。</u> 輸入は、 <u>横ばいとなっている。</u> 貿易・サービス収支の黒字は、 <u>やや増加している。</u>	輸出は、 <u>このところ弱含んでいる。</u> 輸入は、 <u>緩やかに増加している。</u> 貿易・サービス収支の黒字は、 <u>横ばいとなっている。</u>
生産	<u>弱含んでいる。</u>	<u>横ばいとなっている。</u>
雇用	完全失業率が高水準で推移するなど、依然として厳しい。	完全失業率が高水準で推移するなど、依然として厳しいものの、 <u>一部に持ち直しの動きがみられる。</u>

(注) 下線部は、先月から変更した部分。